

県営地盤沈下対策事業 佐賀中部地区の再評価

公共事業評価監視委員会（平成23年10月26日）

県土づくり本部農山漁村課

県営地盤沈下対策事業とは

地下水汲上げ等に起因した地盤沈下により、機能低下した農業用排水施設の機能復旧と新たな湛水対策



地下水くみ上げ



地盤沈下による抜上り



干ばつ被害



湛水被害



地盤沈下による水路の不陸

- 農業用排水路の改修
- 排水機場の新設



用水路の改修



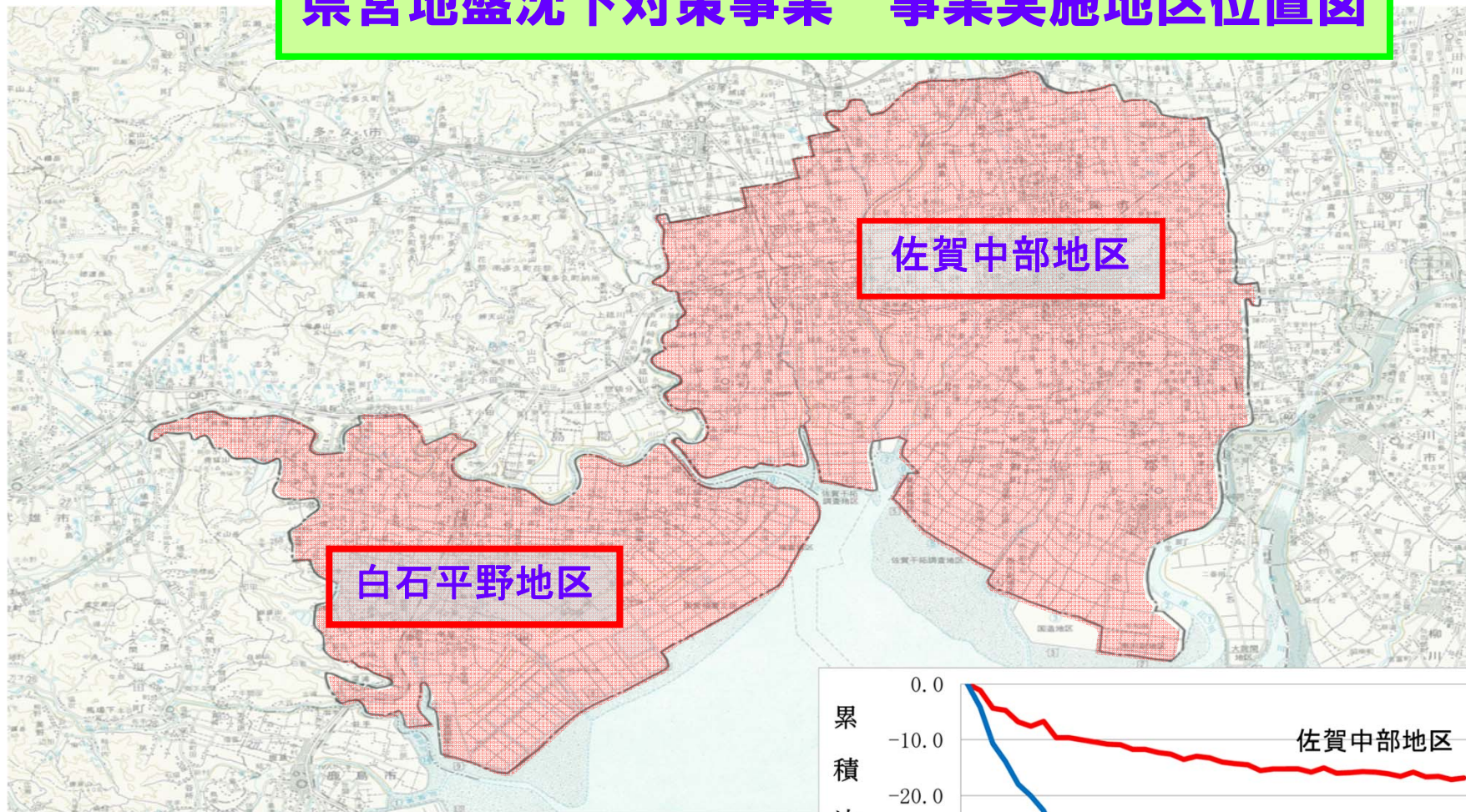
排水路の改修



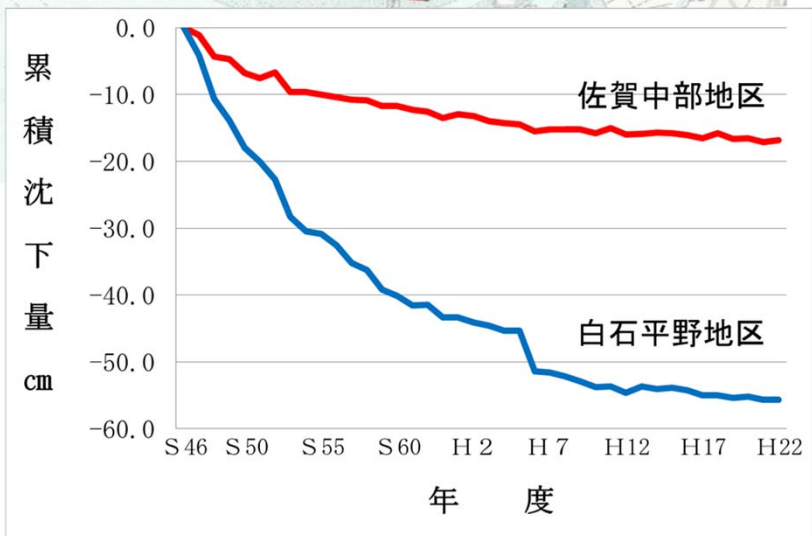
排水機場の整備

農業経営の安定と県土保全に資する。

県営地盤沈下対策事業 事業実施地区位置図



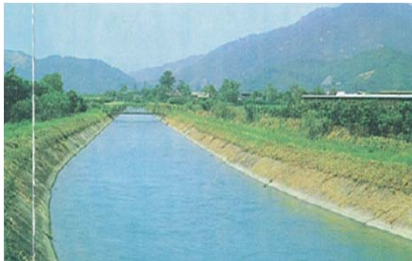
地盤沈下量の経年変化



嘉瀬川農業水利事業

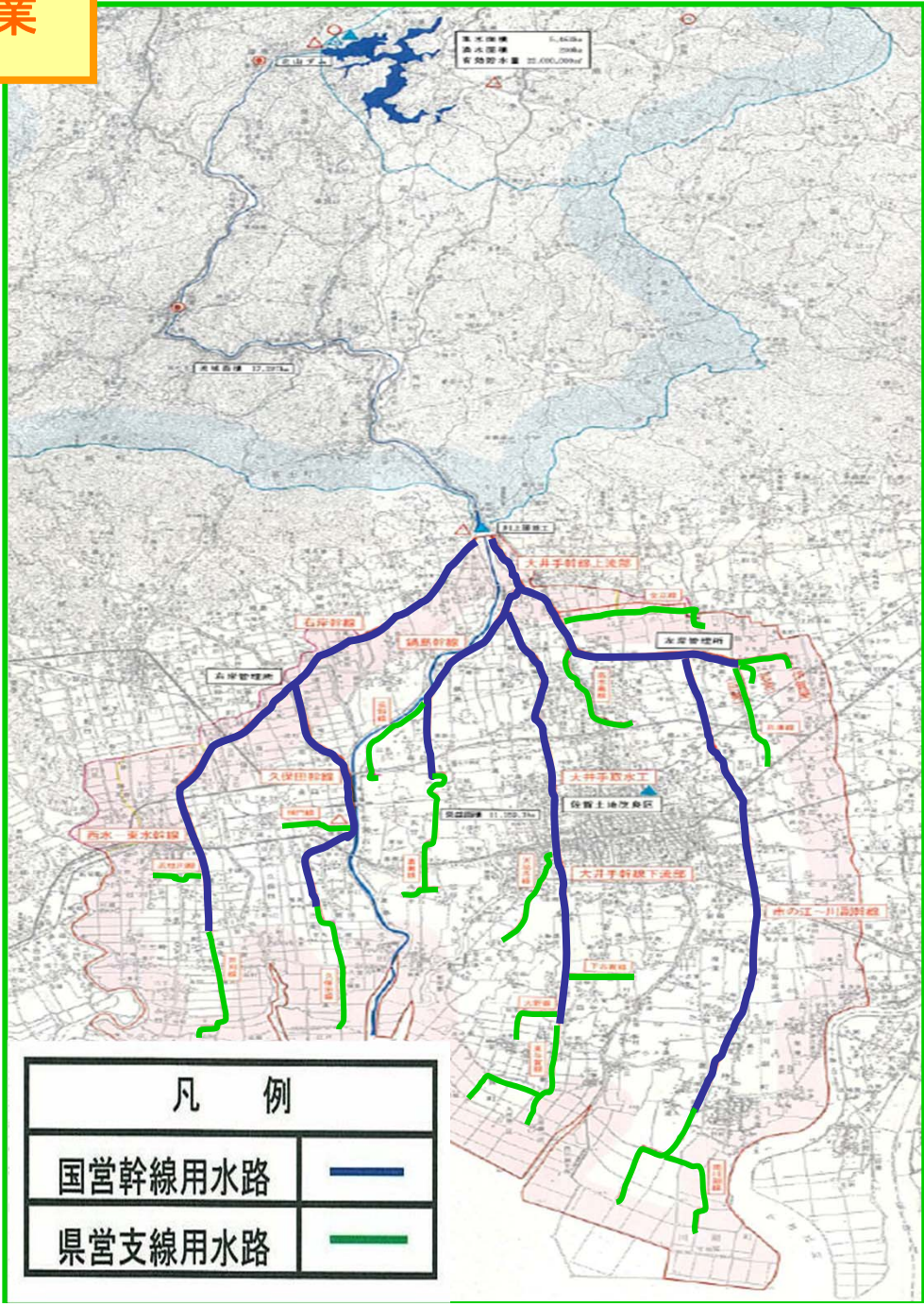


川上頭首工



幹線用水路

国営工事
 工期 (S24~S48)
 事業量
 ○ 北山ダム
 ○ 川上頭首工
 ○ 幹線用水路
 事業費
 6,074百万円



北山ダム



支線用水路

県営工事
 工期 (S39~S60)
 事業量
 ○ 支線用水路
 事業費
 2,442百万円

(1) 用水路の機能回復

- ・旧国営嘉瀬川農業水利事業及び旧県営かんがい排水事業嘉瀬川地区で整備された用水路は、地盤沈下により水路に凹凸が生じ、通水機能が大幅に低下している。
- ・このため、水路の改修を行い、機能を回復させ、農業用水の安定的な供給を行う。



段差とズレが生じている状況
(大井手幹線水路)



凹凸が生じている状況
(三日月南部線)

(2) 排水機能の回復、強化

- ・佐賀平野はもともと標高が低く、有明海の潮位が高い時には海面は陸地より高くなり、有明海への排水ができないという地域特性を持っている。
さらに、地盤沈下により、慢性的な湛水被害が発生している。
- ・このため、排水機場の新設や排水路の整備を行い、農地や農業用施設を湛水被害から未然に防ぐ。



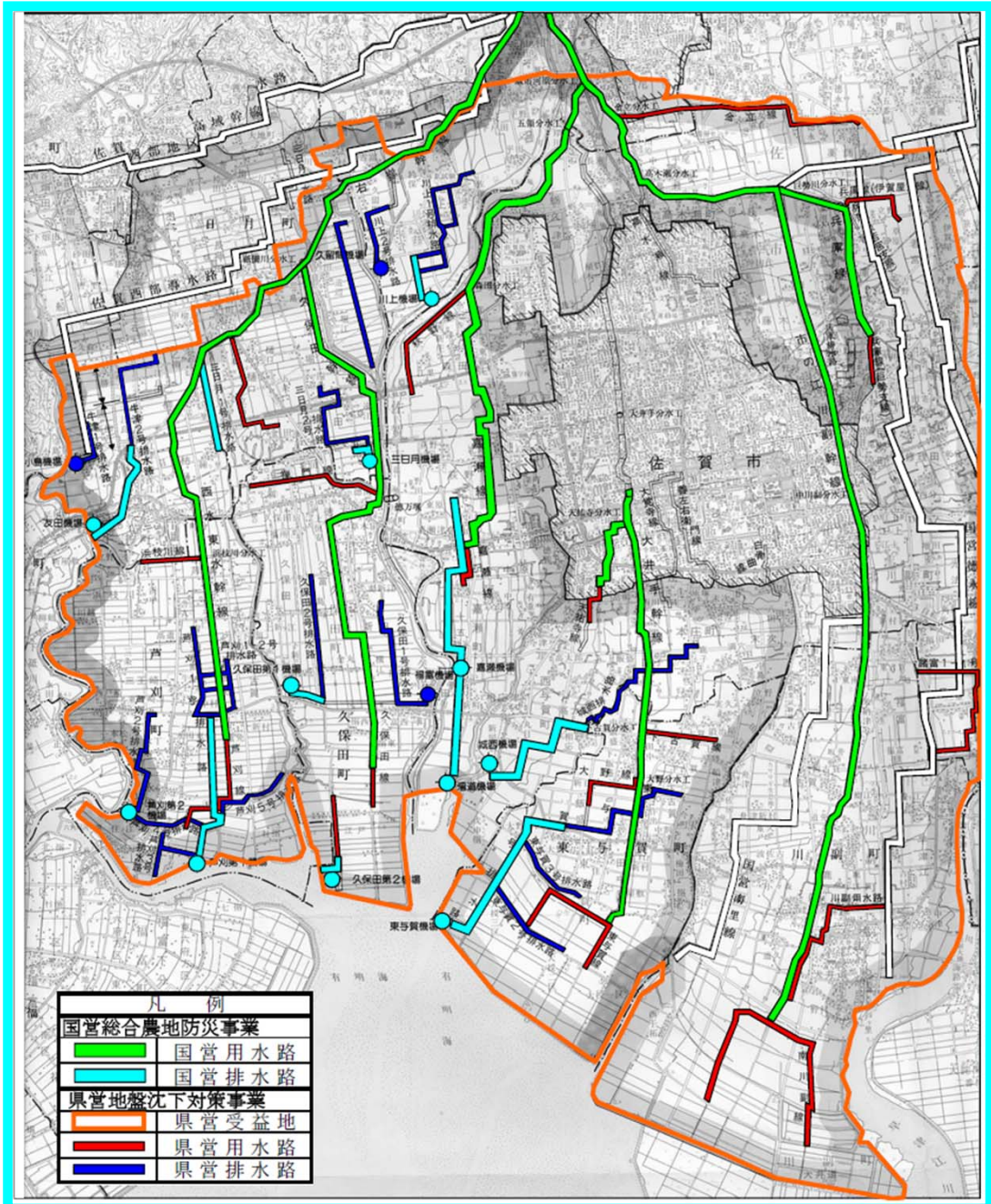
小城市牛津町



佐賀市兵庫町

平成2年7月2日の大洪水(日雨量286mm)

県営地盤沈下対策事業 佐賀中部地区



県営地盤沈下対策事業 佐賀中部地区

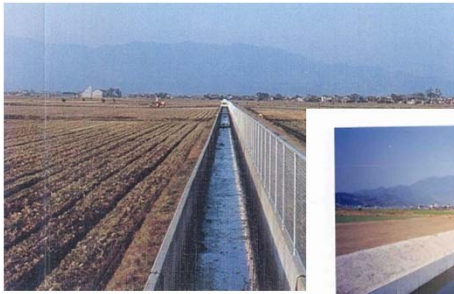
- 事業量
 用水路 L=24,791m
 排水路 L=31,266m
 排水機場3ヶ所
- 事業費 13,410,000千円
- 工期 平成3~30年度

関連事業 国営総合農地防災事業 佐賀中部地区

- 事業量
 用水路 L=63,700m
 排水路 L=15,400m
 排水機場 11ヶ所
 頭首工 1ヶ所
- 事業費 67,900,000千円
- 工期 平成2~22年度

事業の効果

事業の実施



用排水路の改修



福富排水機場の整備

優良農地の確保・農地の高度利用・担い手の育成



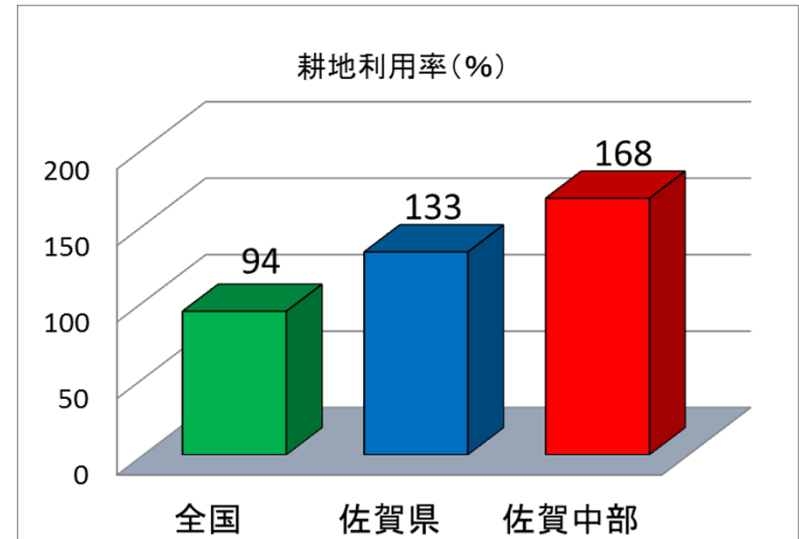
二条大麦(裏作)



施設園芸(イチゴ)



大豆(転作)



佐賀農業農村の持続的な発展を目指す